D Int. Ci2

F 16 B 39/26

60日本分類

53 E 112 53 E 119.1

13123214299

¹⁰日本国特許庁

公開実用新案公報

庁内整理番号 7114-31 7114-31 ⑪実開昭51~26263

❸公開 昭51(1978). 2.26

審査請求. 有

匈座金付ナットの戻り止め装置

9美

願·昭49-97087

魯田

顧 昭49(1974)8月13日

四考 集 者 出願人に同じ

砂出 願 人 川端幸由

大阪市東住台区長吉出戸町 4 1 0

Ø 5

12代理 人 弁理士 高良英通

砂寒用新楽登録請求の範囲

ナットの座面に座金を回転自在に組付けた座金

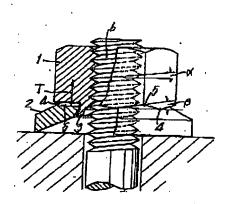
付ナットにおいて、ナットと座金の対接面にそれ ぞれ互に係合する山形の係合突部を設け、この係 合突部の傾斜角度βをねじのリート角ェより僅少 大ならしめたことを特徴とする座金付ナットの戻 り止め装置。

図面の簡単な説明

図面は木考集の一実施例を示し、第1図は本考 案の戻り止め萎聞を備えた座金付ナットの使用状 旗を示す一部戦场正面図、第2図は同ナットの底 面図、第3図は同座金の平面図である。

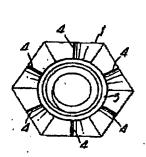
1…ナット、2…應金、4,5…條合突起、a …ねじのリード角、β…保合突部の傾斜角。

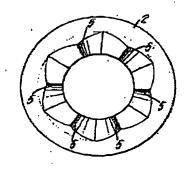
第1図



第3図

第2図





公開実用 昭和51-26263





実用新案登録願

(1,500ii))



昭和⁴⁹年 ⁸ 月 / ³日

特許庁長官 膏 藁 英 雄 殿

- 1. 考案の名称 **医会付ナットの思りいめ等**者
- 2. 考 案 者

住 所

実用新築差録出願人に同じ

氏 名

3. 実用新案登録出願人。まいストョンクナルモンデリ

世 所 大阪市東住吉区長吉出戸町419/8

氏 名

4. 代 理 人 學 580

住 所 大阪市北区低ケ枝町138番地(碧道ビル)

氏 名(7047) **弁理士 高 良 英** ;

- 5. 添付書類の目録
 - (1) 明細書

1 通

(2 17 面

1 通

3 精書副本

1 通

14 委任状

- 1 通
- (6) 出顯著查睛求著
- 1 遥
- 19 097087



- 1. 考案の名称 座金付ナツトの戻り止め装置
- 2 実用新案登録請求の範囲

ナットの座面に座金を回転自在に組付けた座金付ナットにおいて、ナットと座金の対接面にそれぞれ互に係合する山形の係合実部を設け、この係合実部の傾斜角度(β)をねじのリード角(α)より僅少大ならしめたことを特徴とする座金付ナットの戻り止め装置。

3. 考案の詳細な説明

公開実用 昭和51-26263

に働き、あまり戻り止め効果は期待できなかつた。 本考案の目的は、特に振動に対する戻り止め効 果のすぐれた座金付ナットを提供することである。

本考案を図面に示す一実施例について説明すると、1は六角ナット、2はナット1に組付けた円錐座金で、ナット1の座面に突殺した環状突縁3を半径方向外方へに嵌合するとともに環状突縁3を半径方向外方へ押し拡げて、ナット1に対し座金2が回転自在に担付けられる。

4はナット1の座面に形成した山形の係今突部で、座面全局にわたつて設けられ、その傾斜角度(月)はナット1に螺合するねじ6のリード角(a)より進少大きくしてある。5は座金2のナット1との対接面に形成した山形の係合突部で、係合突部4に合致係合する。

上配の係合突部4 および5 は、それぞれナット 1 もしくは進金2の成形加工時に簡単に刻設できる。

第1図に示す締結状態において、微小振動等が 作用すると、円錐座金2の軸方向へ働くばね反力 (T)によりナット1はねじらのリード角(α)のリーと対して地みはしか、ナットのを (の) にから (の) になら (の)

なお、上記実施例においては、ナット1に組付ける座金として円錐座金2を例示したが、歯付座金、平座金、はね座金等値々の座金にも適用できるものである。

に述のように、本考案はナットと座金の対接面 にそれぞれ互に係合する山形の係合突部を設け、

公開実用 昭和51-26263

この係合突部の傾斜角度 (β) をねじのリード角 (α) より (α) から、締結使用 (α) から、締結 (α) がならしから、締結では、カードの (α) がない (α) がない

4 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示し、第1図は本考 業の戻り止め装置を備えた連金付ナットの使用状態を示す一部緩断正面図、第2図は同ナットの底 面図、第3図は同座金の平面図である。

1...ナット

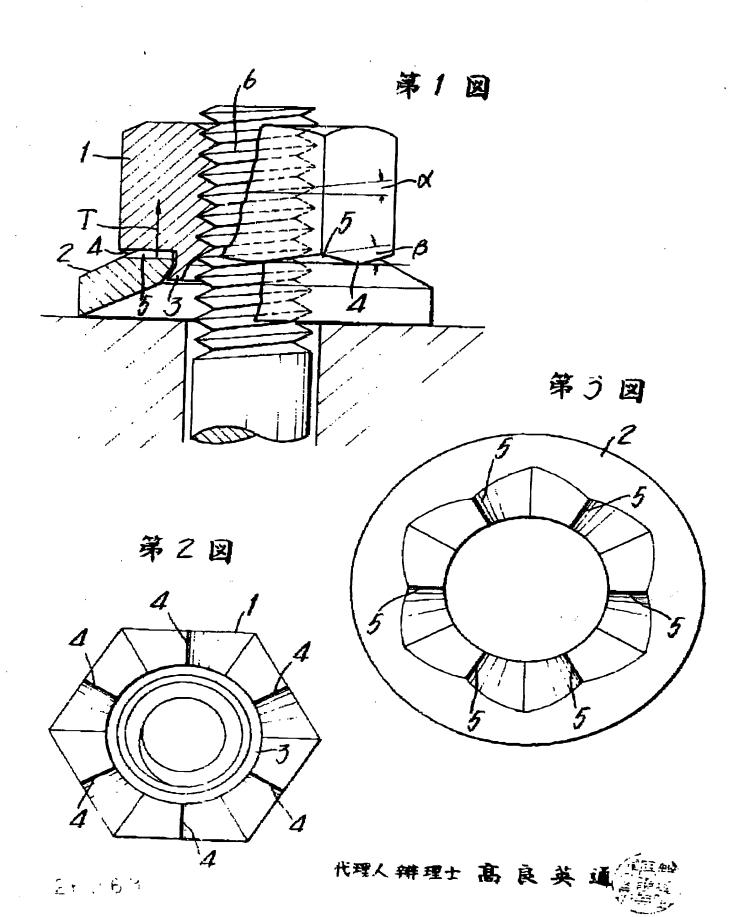
2 . . . 座

45、保合突部

(な)・・ねじのリード角

(β)・・係合突部の傾斜角

夹用新案登録出願人 川 端 幸 由



(Japanese translation)

4. Japanese Utility Model Application No.49-097087 (Japanese Utility Model Laid-Open Publication No.51-026263)

Title of the invention: Locking device for a nut with a washer

Abstract:

There is disclosed a locking device for a nut 1 with a washer 2 in which the nut includes a seat surface to which the washer is rotatably assembled, characterized in that the nut and the washer include opposed faces, respectively, on which are provided ridge-shaped projections 4, 5 adapted to engage with each other, the ridge-shaped projection having an inclination angle β which is slightly larger than a lead angle α of a threaded portion 6 to be threaded with the nut.

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
☐ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.